

6月22日に平成28年度独自目標監査及び平成29年度独自目標設定委員会が開かれました。

平成28年度監査結果

○第1ステージ第2ステップ

独自目標			LAS-E 規格項目別評価		環境対策を している か？
番号	内容	達成状況	規格番号(部門)	評価	環境に配慮し て行政運営し ているか？
D101	温室効果ガス H25-27 平均値	×	1-12 (エコアクション)	× 勧告に値 すべき点 有り	
D102	電気使用量 H25-27 平均値	×			
D103	ホームページ 5月～10月間 1人6回	×			
D104	廃棄物排出量 H25-27 平均値	×			
D105	公用車使用燃料 H25-27 平均値	×			
D106	水道使用量 H25-27 平均値	×	1-23 (エコマネジメン ト)	○ 良好	
D107	LAS-E 関係職員研修 年2回以上	○			
D108	各課 LAS-E 取り組み内容の確認	○	1-30 (エコガバ ナンス)	○ 良好	
D109	環境ニュース 年3回以上発行	○			

○第2ステージ第1ステップ

D201	個人住宅用太陽光発電導入助成件数 年10件以上	×	第2ステージ第1 ステップ 2-12	○ 良好	町民・事業者との 環境政策を実施 しているか？
D202	遊水公園清掃参加人数 1回50人以上	○			
D203	水辺イベントの開催 年1回以上	×			
D204	1人1日当たりのゴミの排出量 H17年 度対48%減	×			
D205	地産地消を促す場づくりの事業開催 年1回以上	○			
D206	土幌町環境マネジメントシステム推進 本部会議 年2回以上開催	○			
D207	環境に関する意見交換 年1回以上	○			

平成 29 年 6 月 22 日

士幌町長
小林 康雄 殿

独 自 目 標 監 査 報 告 書

主任監査員 貝守 良光
副主任監査員 東村 達夫
副主任監査員 小澤 はる奈

1. 監査日時

平成 29 年 6 月 22 日（木）13:15～14:45

2. 監査対象

士幌町役場

3. LAS-E 監査内容

独自目標(平成 28 年度実績)監査

①第 1 ステージ第 3 ステップ (エコアクション、エコマネジメント、エコガバナンス)

②第 2 ステージ第 1 ステップ

4. 監査結果

(1) 第 1 ステージ

番号	内容	目標値	実績値	達成状況 ※
D101	温室効果ガス H25-27 平均値	3,350kWh	3,435kWh	×
D102	電気使用量 H25-27 平均値	2,598MWh	2,673MWh	×
D103	ホームページ 5 月～10 月間 1 人 6 回	100%	85.5%	×
D104	廃棄物排出量 H25-27 平均値	9,355kg	9,816kg	×
D105	公用車使用燃料 H25-27 平均値	28,046ℓ	29,431ℓ	×
D106	水道使用量 H25-27 平均値	46,340 m ³	47,076 m ³	×
D107	LAS-E 関係職員研修年 2 回以上	2 回	2 回	○
D108	各課 LAS-E 取組内容の確認	月 1 回	月 1 回	○
D109	環境ニュース年 3 回以上発行	3 回	3 回	○

※達成状況 ○=達成 ×=未達成

(2) 第2ステージ

		目標値	実績値	達成状況※
D20 1	個人住宅用太陽光発電導入 助成件数	10 件以上	9 件	×
D20 2	遊水公園清掃参加人数	50 人以上	100 人	○
D20 3	水辺イベントの開催	年 1 回以上	開催せず	×
D20 4	1 人 1 日当たりのゴミ排出量 H17 年度対比 44%減	613g	783.5g	×
D20 5	地産地消を促す場づくりの事 業開催	年 1 回以上	1 回実施(収穫祭)	○
D20 6	士幌町環境マネジメントシス テム推進本部会議	年 2 回以上	3 回	○
D20 7	環境に関する意見交換	年 1 回以上	1 回実施 (まちづ くり講演会)	○

※達成状況 ○=達成 ×=未達成

5. 所見

(1) 第1ステージ

エコアクションに関する項目はすべて未達成でした。

電気使用量と温室効果ガス排出量で目標値を大きく上回った学校では、冬季に児童生徒の健康と学習環境を維持する上でやむを得ない事情があったものと認められます。また総合研修センターにおける電気使用量の増加は、トレーニング室の新設によるものです。これにより年間利用者が 5,000 人程度増加したこともあり、住民サービスが向上した点ではむしろ評価できると考えます。また、平成 27 年度中に庁舎の照明や道路照明を LED に切り替えたことで電気使用量も電気代も大幅な削減が実現できています。このような町民や事業者にとっても参考となりうる情報は、より積極的に発信されるとよいと思います。

しかし、目標値をやや超過した施設も複数あり、ここ数年は目標値を達成できない状況が続いています。施設改修や設備更新などハード対策を含め、目標値設定の考え方を転換する時期に来ていると考えます。中長期的にどのような状態を目指すのか、環境基本計画の改定の中でも検討されることを望みます。

なお廃棄物排出量は、施設の規模や業務内容から見て排出量が多すぎると思われる施設がありました。計量の方法やデータ入力に誤りがないか、改めて確認していただくことをお願いします。

エコマネジメントおよびエコガバナンスの項目は計画どおり実施され、目標を達成しています。今後は取り組みの確認や研修の機会を捉え、エコアクション部門の目標達成に向けた現状の把握・分析や対策の検討が各課で行われるように促していただきたいと思います。

(2) 第2ステージ

7 項目中 4 項目で目標を達成できました。

達成できなかった目標のうち「1 人 1 日当たりのゴミ排出量」は、環境基本計画に基づく目標ですが、現状では目標年度である平成 29 年度中の達成は難しい状況です。削減対象とするごみの範囲を再考することが必要と考えられます。まずは現状のごみ排出に関するデータを分析し、取りうる対策内容を踏まえた現実的な目標設定に変えていかれるのが良いでしょう。

「水辺イベントの開催」のように実施主体が事務局担当課（総務企画課）以外の部局になる場合、年度途中で実施状況を確認し、必要に応じて実施を支援するなどのアプローチが必要です。関係各課が連携して、環境関連施策を全庁的に推進する体制を構築していけると良いと思います。

平成 29 年度中に環境基本計画の改定が予定されており、平成 30 年度以降の目標は新計画に準じて設定していくことになります。これまでの成果と残された課題をしっかりと振り返り、環境基本計画と LAS-E による目標管理を関連付けた整理をしていただくことを期待します。

平成 29 年度 独 自 目 標

○第 1 ステージ第 3 ステップ

		目標値	
D 1 0 1	温室効果ガス H26-28 平均値	3, 378	t-CO2
D 1 0 2	電気使用量 H26-28 平均値	2, 617	Mwh
D 1 0 3	ノーマーカーデー 5 月～10 月間 1 人 6 回	100	%
D 1 0 4	廃棄物排出量 H26-28 平均値	9, 494	kg
D 1 0 5	公用車使用燃料 H26-28 平均値	28, 511	リットル
D 1 0 6	水道使用量 H26-28 平均値	46, 547	m ³
D 1 0 7	LAS-E 関係職員研修年 2 回以上	全体研修 1	回
		実行責任者・環境マネージャー研修 1	回
D 1 0 8	各課 LAS-E 取組内容の確認	月 1 回	回
D 1 0 9	環境ニュース年 3 回以上発行	3 回以上	回

○第 2 ステージ第 1 ステップ

D 2 0 1	個人住宅用太陽光発電導入助成件数 年 10 件以上
D 2 0 2	遊水公園清掃参加人数 1 回 50 人以上
D 2 0 3	水辺イベントの開催 年 1 回以上
D 2 0 4	1 人 1 日当たりのゴミ排出量 H17 年度対比 50%減 (589g)
D 2 0 5	地産地消を促す場づくりの事業開催 年 1 回以上
D 2 0 6	士幌町環境マネジメントシステム推進本部会議 年 2 回以上開催
D 2 0 7	環境に関する意見交換 年 1 回以上

＝ 平成 29 年 6 月から

とかち一斉ノーカーデーがはじまりました！

今年 6 月から、十勝管内市町村の役場職員を対象に、毎月 1 週目の第 1 金曜日をとかち一斉ノーカーデーとし、自家用車を使わない通勤を呼びかけています。第 1 回目の 6 月 2 日(金)には、全 19 市町村で 1,807 人が実施し、合計 1,560 kg-CO2 の削減となりました。これは、士幌町内全ての公共施設が 2 日間で排出する CO2 に匹敵する数値です。

車はとても便利な乗り物ですが、月に 1 度、皆様も自家用車を使わない 1 日を設けてみてはいかがでしょうか。

いつもと違った風景が見られるかもしれません。

第 2 ステージでは、地域全体が対象となり、町の環境政策を推し進めるため、皆様にも一層のご理解とご協力をお願いいたします。

※士幌町環境マネジメントシステムのホームページを公開しております(<http://www.shihoro.jp/env/>)

※目標達成状況について ○・・・良好 △・・・軽微だが改善すべき点有り ×・・・勧告に値すべき点有り